

2011年3月31日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 NPO 法人調布心身障害児・者親の会

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

#### 1. プロジェクト名

心身障害者のための地域自立支援事業

#### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

障害者自立支援法の施行により、障害をもつ人の小規模作業所の運営が難しくなったため、事業移行を目指し、就労継続支援 B 型の障害者施設「びいす」を立ち上げました。厳しい経済情勢のなかにあっても、障害をもつ成人の人たちが、日中安心して働くことができるように、地域での自立支援を応援していきます。また、年々増加していく障害をもつ知的特別支援学校(旧養護学校)高等部の卒業生の進路受け入れ先となっていくことを目指します。

#### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

平成 22 年度、当法人運営小規模作業所「野いちご作業所」「森のなかま」に、「NPO 法人ポコポコホッピング」が加わって、障害をもつ人たちの通所施設「びいす」の新設統合と事業移行準備を検討してきました。障害をもつ人たちの働く場の充実を目指します。仕事内容として菓子製造販売・調理品製造販売を考え、パウンドケーキ・クッキー・豚汁の調理、おにぎり・カレーへと展開していく予定です。これらの菓子類・調理品は、調布市総合体育館「森のこみち」にて、障害のある人も調理補助や販売を行って働ける喫茶として連携をとっていきます。助成で炊飯器・調理台を購入させていただきました。

#### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

平成 21 年度から、3カ所小規模作業所の職員と法人事務局(障害者保護者)とがプロジェクトをくみ、統合と仕事内容について検討してきました。また、平成 22 年度、職員が作業の内容を情報交換し、実際にそれぞれの作業(菓子製造と受注作業)を交換して経験したり、情報交換を行ってきました。また、新しい施設となる事をきっかけとして、新しい作業(革芸)も検討し通所の人たちと取り組みを進めてきました。効果については、施設「びいす」に引越したばかりですが、助成いただいた機器を使い、今後の調理への取り組みを一步一步と進めていきたいと考えています。

#### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

平成 22 年度 3 月末に、3カ所の小規模作業所がひとつの障害者通所施設「びいす」になることが出来、皆笑顔で通ってきます。3月 26 日には施設内覧会を行いました。地域の住民の方々も見学いただき、この地域で障害をもつ人たちの働いていく施設として第一歩を踏み出しています。いただいた助成で、炊飯器二台と調理台の購入を行い、厨房施設の充実ができました。4月には、特別支援学校卒業の三名の方が新しく入所をします。新しい調理機器で一回り人数の増えた障害者の人たちが、新たな調理の取り組みを行っていきます。今後平成 23 年度、事業移行も具体的になり、安定して障害の人たちの働く場として、地域での自立支援を進めていきます。本当にありがとうございました。

#### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



NPO法人  
調布心身障害児者  
親の会  
障害者通所施設  
「びいす」